

*****+*****+*****+*****+*****+*****+*****+*****

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

E メール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2026年2月12日(木)

NO. 1654号

本号3頁

憲法共同センター 9の日宣伝行動

「自民党勝利、引き続き市民の共同で社会保障削減の軍拡、改憲を阻止しよう」と呼びかける

憲法会議や全労連、民医連などでつくる憲法共同センターは9の日、新宿駅東南口で「9の日」宣伝行動を行いました。大軍拡と「スパイ防止法」制定反対の請願署名を呼びかけ、「自民党が大勝利したが、市民の運動で憲法改悪を阻止し、社会保障を削減する軍拡をやめさせよう」等と呼びかけました。

全労連の秋山正巨議長は、米トランプ大統領が日本にGDP5%、約30兆円の軍事費を要求しているとして、「国民の多数が戦争反対している。軍事よりくらし、命を守る政治が必要だ」と訴えました。

憲法会議の高橋信一事務局長は、総選挙結果に触れ、「自民党が単独で3分の2を超え、維新を合わせると与党は3分の2を大きく超えた。高市首相は選挙後半で自民党が優位とみると、『憲法をやらせてください』と訴えはじめ、投開票日の翌日にも記者会見で改憲を進める決意を述べた。高市改憲、大軍拡をストップさせよう」と呼びかけました。

全商連の中山眞常理事は「30兆円の軍拡は、国の財政を破綻させる。私たちは軍事費のための大増税に反対する」と強調しました。

2026年の衆議院議員選挙

自民比例復活に回る重複候補者が不足 14議席他党へ譲渡

第51回衆議院選挙は8日、投開票が行われ、高市早苗首相が率いる自民党が単独で総定数465の「3分の2」を超える316議席を獲得する「歴史的な勝利」を収めました。参政党やチームみらいも躍進。中道改革連合（中道）は議席を118減らす惨敗で、重鎮も議席を守れませんでした。中道で当選者は、比例で優遇された公明が28、そして立憲は21でした。

“高市フィーバー”に乗じて小選挙区249議席、比例区67議席と数字を大きく伸ばした自民党。立憲民主党と公明党による中道も大惨敗に終わり、全国の小選挙区における自民党の占有率は86%と過去最高となりました。

歴史的大勝となった自民でしたが、本来ならば議席をさらに重ねていました。人気過ぎたゆえに想定外の事態も起きました。なんと全国の小選挙区で勝ち過ぎたため、比例復活に回るはずだった重複候補者が不足。つまり擁立候補者が足りなくなる事態が生じ、公職選挙法の規定に基づいて自民の「14議席」が他党に譲渡される“珍事”が起きました。

本来は単独330議席を確保したはずの自民党から議席譲渡を受けたのは、中道6、国民民主党2、維新2、チームみらい2、参政党1、れいわ新選組1でした。

この数字からみると、中道は当選者49でしたが、本来の当選者は43でした。その内訳は、公明28、立憲15となります。立憲が144から15とは、大惨敗。地滑り的敗北でした。

中道が果たした役割?、国会から「左派」・リベラル派を追い出す結果に

大惨敗。地滑り的敗北の中道。立憲の野田代表と公明の斎藤代表は1月16日、新党の党名を「中道改革連合」と発表しました。中道路線を打ち出し、保守的な政策が目立つ高市政権との対決姿勢を強める構えでした。なお、参院議員と地方議員は当面、それぞれの党に所属するとしています。

一方、5本の政策の柱を掲げた中道の綱領原案は、「現実的な外交・防衛政策と憲法改正論議の深化」では、「憲法の平和主義に基づく専守防衛を基本に現実的な外交・防衛政策を進める」と明記。「不断の政治改革と選挙制度改革」では、政治資金の透明化や民意が反映される選挙制度改革に取り組むとしていました。

集団的自衛権行使を容認した安保法制=戦争法に対する態度が問題と小池氏

この中道には、野党からも厳しい批判が出ました。共産党の小池書記局長は「何を旗印にし、どういう政策で共同するのか注視していきたい」と述べ、とりわけ注目しているのは、集団的自衛権行使を容認した安保法制=戦争法に対する態度の問題だと強調しました。また、小池氏は「公明党は2015年に自民党とともに安保法制を強行した政党だ。一方で、立憲は安保法制による集団的自衛権行使を憲法違反だと批判し、わが党と共に反対した」と指摘。立憲はその後も10年間安保法制を廃止し立憲主義を取り戻すという立場を表明し、日本共産党もそのことを確認して、この間の国政選挙での協力も行ってきたと強調し、「そういう立憲民主党が、公明党との間でどのような共通の立場を持つのか注視していきたい」と述べました。さらに、「安保法制に対する評価は違憲か合憲かの二つに一つしかない。その点をあいまいにすることはありえない」と強調しました。

立憲の大物議員落選、リベラル勢力の減少で、今後の国会論戦でも厳しい事態に

惨敗した中道は政権への対抗軸を打ち立てられず、政界再編の推進力も失いました。野田佳彦、斎藤鉄夫両共同代表は「痛恨の極みだ。万死に値する大きな責任だと思っている」などと述べ、辞任しました。

立憲に中道結成か正しかった判断だったのか、国民が望んだ判断だったのか、総括する必要ではないでしょうか。無党派層や若者に全く響かなかった主張。とりわけ、立憲に集団的自衛権行使を容認した安保法制「違憲部分の廃止」から合憲に、現実的な外交・防衛政策と憲法改正論議の深化問題、原発再稼働も条件付きで「容認」の現実路線がまちがっていなかつたのか。公明との新党結成のために投げ捨てた政策を考え直し、是非ともしっかりと総括してほしいものです。

立憲の大物が続々と落選。さらに、共産4議席にとどまり、れいわ1議席、社民0と、リベラル勢力は風前の灯となりました。立憲の大物議員落選、リベラル勢力の減少で、今後の国会論戦でも厳しい状況になりそうです。

収支報告書不記載議員と統一教会と接点あった議員、52人のうち49人が当選

自民党は派閥の政治資金規正法違反事件で収支報告書に不記載があった議員、そして統一教会と接点のあった議員について、不記載問題の発覚後に衆院選を経たことや党内の分断を回避する狙いから、例外なく重複立候補を認めました。

その結果、萩生田光一、前回落選した下村博文ら、計52人のうち49人が当選しました。落ちたのは「歩くヘイト」と呼ばれる杉田水脈氏ら二人。しぶとい旧安倍派、裏金議員ら(資料)が、反省し「禊が済んだ」だけでなく、裏金問題への直接的な言及を避け続け、息を吹き返したのです。自民党は裏金問題など金権政治に対して、全く反省していません。

呼びかけ 憲法の危機、憲法ポスターとパンフレットの活用を

自民党の大勝利で改憲の動きが強まり、憲法が危険な事態となっています。そのような中、月曜日、火曜日と、憲法会議発行の憲法ポスターと憲法パンフレットの注文が増えています。市民の皆さんのが選挙結果に危機感を感じて注文されたようです。皆さんもパンフ・ポスターどうですか。

憲法会議 2026年春の憲法講座

衆議院選挙で自民党・維新の会の与党は352議席を獲得し、さらに改憲派の国民民主党等を合わせると、憲法を改正しようとする勢力が、80%を超える事態となりました。投開票日の翌日に高市首相は「憲法改正案を発議し、少しでも早く改正の賛否を問う国民投票が行われる環境をつくりていけるように、粘り強く取り組んでいく覚悟だ」と改憲への意欲を示しました。

今、憲法は極めて危険な事態です。私たちは草の根から改憲反対の共同を広げ、改憲を阻止しなければなりません。渡辺治氏が選挙結果を分析し、高市改憲・大軍拡とどう立ち向かうかを語ります。

一緒に学びあいましょう。

*講座・講演 渡辺治一橋大学名誉教授

演題 「高市内閣の改憲・軍拡策動の狙い。どう立ち向かうか」



*と き 2026年3月22日（日）

午後12時30分～14時10分（12時開場）

*ところ 全労連会館 2Fホール

東京都文京区湯島2丁目4-4 03-5842-5610

作成中

作成しだい送付します。

QRコード

*資料代 1000円（学生500円）当日会場でいただきます。

*主催 憲法会議（憲法改悪阻止各界連絡会議）

*協賛 神奈川憲法会議／埼玉憲法会議／千葉県憲法会議／東京憲法会議

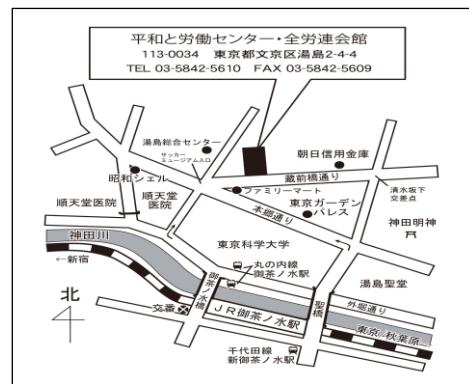
*Youtubeで同時配信します。

右上のQRコードからご視聴ください。

・視聴される方は参加費1000円を、

郵便振替 00160-8-66110 憲法会議に振り込んでください。

*事前お申し込みをお願いします。下記へご連絡ください。



◆申し込み・連絡先◆

憲法会議 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-32 金子ビル103

TEL03-3261-9007 FAX03-3261-5453 Eメール: mail@kenpoukaigi.gr.jp

●憲法講座受講申し込み書●

氏名	住所	電話	ファックス	メールアドレス